

動画を活用したプレコンセプション ケア授業:教育効果の検証

坂上明子、青木恭子、
富岡優理恵、藍畑麻美



プレコンセプションケア (以下 PCC)

は、将来、妊娠を希望するか否かに関わらず、前思春期から生殖期にある全ての人が性や生殖に関する正しい知識を身につけ、将来のライフデザインを踏まえて、健康管理を行うよう促すことである。世界保健機関が PCC を本格的に推奨したのは 2012 年からであり、このケアが十分に浸透しているとは言い難い。大学卒業後の進学や就職等のキャリアデザインを考えるための取り組みは多くの大学で行われているが、将来の性と生殖を踏まえたライフデザインを検討する機会はほとんどないと考える。

そこで、千葉県健康福祉部子育て支援課からの依頼を受け、我々は高校生版と学生・一般版の 2 種類の PCC 動画と PCC チェックシート、ライフデザインシート (以下 L-S) を作成し、2024 年 2 月より県の公式 Youtube チャンネルで公開している。

本研究では、看護学部 1 年生及び非医療系学部 1 年生を対象とし、2 つの授業の中で上記 PCC 動画を活用し、その教育効果を検証した。学生は授業で PCC の概要を学んだ後、動画を視聴し、PCC チェックシート及び L-S の記載に取組み、①動画視聴による学び、②L-S を記載して考えたこと、③PCC

チェックシートを記載してこれから取り組みたいことをレポートにまとめた。レポートは質的帰納的に分析した。本稿では看護学生のレポートの分析結果を報告する。所属大学の研究倫理委員会の承認を受けて実施した。

研究参加の同意を得た看護学生 57 名のレポートから合計 599 のコードが抽出された。

《男女共に早い時期から PCC を学ぶ重要性》、《将来の選択肢を増やすために今からできる健康管理》、《正しい知識に基づいた多角的なライフデザインの検討と柔軟な修正》、《将来の目標や自己の価値観、現在の行動の見つめ直し》、《親になるために必要な覚悟と責任の重さ》、《キャリアと生殖のバランスの難しさの実感》等のカテゴリーが抽出された。

PCC 動画、PCC チェックシート、L-S を活用した授業により、学生は将来の妊娠の希望の有無に関わらず、PCC を性別に関係なく身に着ける重要性に気づき、日常生活習慣や健康管理を見直したり、看護職者としてのキャリアや将来の生殖を含めたライフデザインを具体的に考えるきっかけとなっていた。これらの教育は PCC を学ぶための有効な方略であったと考える。これらの結果は、2025 年度学術集会で発表後、投稿予定である。今後は、非医療系学部の学生との学びの違いや、授業終了 1 か月後に実施した追跡調査の結果から日常生活習慣改善の継続状況等を検討する。